

## 平成 25 年度上下流交流事業

### いちのみやリバーサイドフェスティバル

【日 時】 平成 25 年 5 月 3 日（金）～5 月 5 日（日）

【場 所】 愛知県一宮市 138 タワーパーク

【内 容】 以下のとおり

ゴールデンウィーク後半の 5 月 3 日～5 日の 3 日間、愛知県一宮市にて恒例の「いちのみやリバーサイドフェスティバル」が開催されました。

今年度のイベントテーマは「身近な緑をふやそう」で、花の寄せ植えやハンギングバスケットの体験教室や苗木や花苗の即売会、が行われていました。また、地元中学生のブラスバンドや市民の演芸披露、キャラクターショーなどのイベントや、衝突実験車による時速 5km の衝突体験、地震体験車で体験、スモークハウスを利用した煙体験、消防の放水体験などが実施されており、今年は 3 日間とも好天に恵まれこともあって、家族連れを中心にどこも大勢の来場者で賑わっていました。

今回も郡内出店者のご協力により「木曽路の大物産展」を実施しました（そば、漬物、おやき、ごへー餅、中華まん、椎茸、木工製品等）。また、木曽地方事務所からも「木曽発信プロジェクト」としてご協力いただき、みたけグルメ工房の木曽牛コロケや、エイチ・アイ・エフの飲むヨーグルト等の物販を中心に、木曽の PR をしていただきました。特に今回初参加の㈱ファーストグリーンは、椎茸の詰め放題を企画しましたが、予想以上の来客のため在庫があっという間になくなるほど好評でした。

木曽広域連合では、上下流交流事業として木工体験、特産品販売、ウォーターコインゲームを通じた森林整備の PR 並びに開田高原の伏流水の試飲により観光 PR を行いました。

木工体験コーナーでは、木曽ひのきの箸づくり体験を行いました。木曽ひのきの棒を鉋がけしたあと、焼き鏝で文字や絵を描き「オリジナル箸」を製作する内容は子供たちに人気で、受付を途中で終了するほど多くの方の関心が集まり、200 名を超える盛況となりました。

特産品販売では、木曽町のふるさと体験館・大桑村の木挽の里・中津川市山口の木曽ごへー本舗より加工食品・木工製品・地酒などをお借りして販売しました。加工食品は麦こうせんやそばかりんとう、木工製品は寿司桶や箸類がよく売れていました。地酒は、試飲をして買っていく方や昨年買って美味しかったからと今年も続けて買って下さる方もいました。

森林整備 PR では、ウォーターコインゲームを実施しました。1 回 30 円の体験料をいただき、1 円玉を水槽の中のコップに入れるゲームですが、子供たちを中心に行列ができました。毎年楽しみにしている方もおり、ゲームを通じて水の特徴・大切さを実感いただき、美味しい水づくりには森林整備が欠かせないことを PR しました（約 640 名参加）。

試飲コーナーでは、本年度も㈱霧しなより御嶽山の伏流水 300 リットルをご提供いただき、木曽の観光パンフレットの無料配布と DVD 上映（『小さな旅』と『木と水の旅』）を併せて行いました。連日暑かったこともあってサーバーの前には次々とお客様が並び、木曽のおいしい水を味わいながら、それを育む豊かな自然を感じていただくことができました。

※この事業は、長野県の「地域発 元気づくり支援金」を活用して実施しました。

☆会場の様子



特産品販売ブース



木工体験（ひのき箸づくり）ブース



ウォーターコインゲーム



御嶽山の伏流水試飲コーナー

※この事業は、長野県の「地域発 元気づくり支援金」を活用して実施しました。